

ネットワークアンケート ⑧

糖尿尿ネットワークを通して

医療スタッフに聞きました

Q. 糖尿病の患者さんでサプリメントを服用している方は、どのくらいいると実感されていますか？

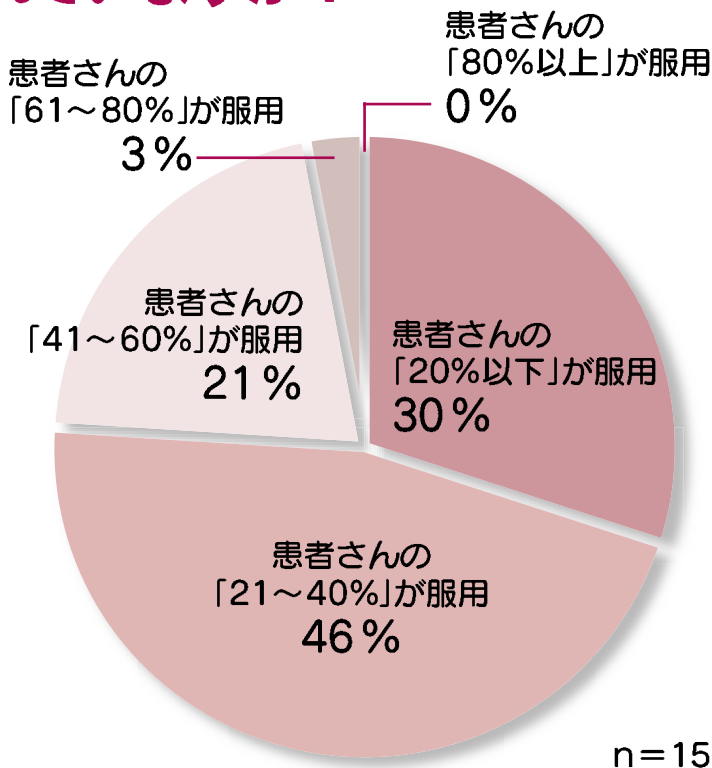
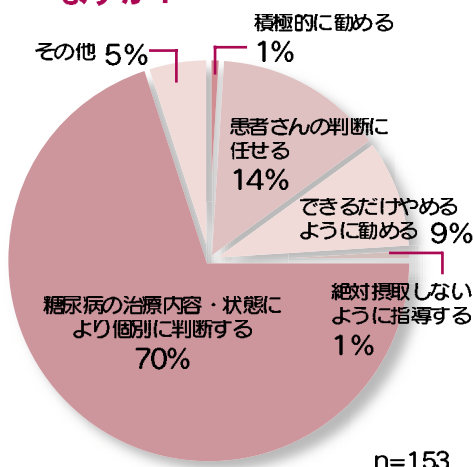
“健康ブーム”といわれて久しい昨今、サプリメントの人気は相変わらず。昔はビタミンCやカルシウム補給程度のものでしたが、近年では美容と健康、万病治療、はたまたアンチエイジング(抗加齢)等々、万能薬さながらの効能を期待して摂取している方は多いのではないのでしょうか。しかし、糖尿病患者さんにとってはどうなのでしょう？

〔回答数：医療スタッフ15名(医師26、看護師38、准看護師6、管理栄養士27、栄養士2、薬剤師36、臨床検査技師8、理学療法士3、その他9。うち日本糖尿病療養指導士33)、患者さんやその家族45名(食事療養を行っている312、運動療法を行っている259、経口薬を服用している188、インスリン療法を行っている226。重複回答)〕

*ここでいう「サプリメント」とは、ビタミン・ミネラル・ハーブなどの栄養素を錠剤・カプセル・細粒・顆粒・液状などの形で口にする栄養機能食品を称しています。

患者さんの2~4割が摂取しているとした医療スタッフが46%と半数近くを占め、2割以下をあわせると76%と、ほとんどの方が「少ない」と実感していました。サプリメントについて患者さんから相談を受けるかどうかについても、「よく相談を受ける(月10人以上)」7%、「時々、相談を受ける(月1~9人)」54%、「ほとんど相談を受けない(数カ月に1人以下)」39%と、実際、医療の現場で患者さんから相談を持ちかけられることも少ないようです。

Q. サプリメントについて相談を受けた際、どのように指導しますか？



Q. サプリメントの「よい点」と「悪い点」について該当すると思われるもの (複数回答あり)

「よい点」	割合
血糖コントロールをよくするものがある	7%
治療効果を補助する	12%
体調をよくする	23%
日常の健康意識向上に役立つ	45%
よい点はないと思う	11%
その他	2%

n=218

「悪い点」	割合
具体的な効果が不明である	33%
糖尿病の治療効果を悪化させるものがある	20%
糖尿病患者さんが治療を中断することがある	29%
体調管理を悪化させることがある	14%
悪い点はないと思う	0%
その他	4%

n=319

この質問では医療スタッフの考えるサプリメントのイメージがよく表れている

のではないのでしょうか。「よい点」では「健康意識向上だけでなく、病識向上にもつながる(薬剤師)など、サプリメントそのものの効能よりも、自己管理の意識向上に役立てばよいという意見がほとんどでした。「悪い点」では「摂取して治すといった発想は特に糖尿病などの疾患には当てはまらないのでは(医師)」「医療機関を受診する手間や費用をてんびんにかけ、安易にサプリなどを飲んでごまかし治療が遅れる危険性(薬剤師)」「糖尿病が治ると思って飲んでる人がいる(医師)」等々、サプリメント依存による食事療法の乱れや治療の遅れを心配する声が多くあがりました。とはいえ、約3割の方が、「治療を中断することがある」としていること、2割の方が「治療効果を悪化させるものがある」と感じていることなど、対策を講じる必要性が示唆されていると言えるかもしれません。